

さいころが転がって紡ぐ人生ドラマ



外は大雪でも、会場は温かな笑いと感動に包まれていました。1月24日、公民館に集まった29人が囲んだのは、手作りの「人生すごろく」。「人生の冒険は？」などの問いに答えていく企画です。ある男性が「冒険は結婚。隣にいるのが妻です」と答えて会場を沸かせれば、「亡き友と旅したい」という女性の言葉に、皆で静かに耳を傾ける場面も。「他人の人生に触れるのが楽しかった」という感想もいただきました。すごろくを通じ、世代を超えてお互いの物語を知る、そんな温かな「居場所」がそこにありました。

今月のベストショット📸
すごろくでミッションをクリアしていく
チーム水色の皆さん👏

ハンドベルが繋いだ地域の輪

成沢第二町内会の皆さんによる美しいハンドベル演奏、非常に洗練されていました。特に印象的だったのは、その後の体験コーナーです。「できるかな...」と不安そうにベルを握った70代の女性。見事に綺麗な音を鳴らすと、「できた！嬉しい！」と満面の笑みがこぼれ、会場全体が拍手と温かい空気に包まれました。ただ見学する「視察」のお客様ではなく、一緒に楽しむ「仲間」になれた瞬間でした。こうしてお互いに興味を持ち、一緒に場を作っていくのが「ふれあいカフェ」のいいところ。

外の大雪とは対照的に、公民館の中は音楽と笑顔でポカポカでした。これからも、こんな温かい時間を皆さんと作っていったら嬉しいです。



「見上げてごらん夜の星を」を演奏する
成沢第二町内会の皆さんと演奏を聴く小学生



地域の枠を超えてコラボ演奏する
平清水と成沢第二町内会の皆さん🎵

編集:平清水いきいきサロン (いのまた)